

# 抗がん剤と合併症

抗がん剤の種類によってさまざまな合併症が出現する可能性があります

抗がん剤の種類	薬物名	合併症	高リスク因子	※空欄は量など詳細不明。その薬剤の使用自体がリスクとなる
アントラサイクリン		心毒性	※スクリーニング項目リストの表参照	
		二次がん (MDS, AML) ※投与後10年以内		
白金製剤	カルボプラチン、 シスプラチン	腎障害	シスプラチン200mg/m <sup>2</sup> 以上、腎照射15Gy以上	
		聴覚障害	シスプラチン360mg/m <sup>2</sup> 以上、大量カルボプラチン1,500mg/m <sup>2</sup> 以上、治療時4歳未満	
トポイソメラーゼ	エトポシド	二次がん (MDS, AML) ※投与後10年以内	エトポシド3,000mg/m <sup>2</sup> 以上	
アルキル化薬		妊孕性・生殖機能	※妊孕性・生殖機能のリーフレットを参照	
	イホスファミド	腎障害	イホスファミド60g/m <sup>2</sup> 以上、治療時4歳未満、腎照射15Gy以上	
	シクロホスファミド、 イホスファミド	尿路障害 (出血性膀胱炎、膀胱線維症、 排尿障害、膀胱尿管逆流、水腎症)	シクロホスファミド3g/m <sup>2</sup> 以上	
	ブスルファン、 ニトロソウレア	肺線維症	ブスルファン500mg以上、放射線照射 (胸部・TBI) の併用	
		二次がん (MDS, AML) ※投与後10年以内		
ステロイド		二次がん (膀胱がん)	放射線照射 (骨盤) の併用	
		骨密度の低下	プレドニゾン換算9g/m <sup>2</sup> 以上、10歳以上でのデキサメタゾンの使用、女子	
		白内障	ブスルファンの併用、放射線照射 (TBI、頭蓋、眼)	
メソトレキセート		耐糖能異常・高血圧・骨壊死		
		認知機能障害・白質脳症	大量メソトレキセート療法 (1g/m <sup>2</sup> 以上)、髄注、治療時3歳未満、頭蓋照射24Gy以上	
ブレオマイシン		骨密度の低下	メソトレキセート40g/m <sup>2</sup> 以上	
		肺障害	成人400mg/m <sup>2</sup> 、小児60-100mg/m <sup>2</sup> 以上、放射線照射 (胸部・TBI) の併用	
全ての薬剤共通		歯の異常 (歯/歯根の発育異常など)	治療時低年齢 (特に5歳未満)、口腔・唾液腺領域を含む照射	